

名家連ニュース

令和元年10月16日(水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 655号

❖ 2019 障害のある人もない人も 風に吹かれて交流広場 in 栄 ❖

第39回 風に吹かれて交流広場 in 栄(主催：名古屋市、障害者と市民のつどい拡大実行委員会)が、10月14日(月・祝)に行われました。

今年は、テレビ塔の改修工事のため、はじめて、オアシス21 銀河の広場で開催されました。これまでのテレビ塔前の広場に比べて手狭ではと懸念されていましたが、むしろ、以前よりも、通路が広く感じられました。時折、小雨が降りましたが、会場には屋根があり、全く問題ありませんでした。

名家連は、「みなみ家族会」の皆さんによる手作りの小物を、青空市で販売しました。隣のテントでは、前日の13日(日)、ルブラ王山で開催された「ピア活あいち2019」でお会いした「くさのねっと」の皆さんが出展されていました。来年は、同じテントで出店して、情報交換しながら、過ごしましょと約束しました。

同時に開催された、久屋大通公園を1周するおよそ700メートルのコースの第35回名古屋シティハンディマラソンには、6歳から92歳までのあわせて317人が参加した(CBCNews)そうです。



精神疾患の理解と対応 第6回

❖ 家族が学ぶ認知行動療法 基礎編 ❖

本間宣貴氏による連続講座の第6回が10月15日(火)に行われました。参加者は92名でした。

今回から、認知行動療法についての講義が始まりました。最初の基礎編では、「良い認知とは何か？」を学びました。一通りにしか解釈できない「くせ」をなおし、柔軟に解釈できるようになることだそうです。「メタ認知」が理想だということです。次回以降は、実践編(11月)、応用編(12月)と続きます。質疑応答では、幻覚・妄想が激しい場合への対応についての質問が相次ぎました。それについては、「幻覚・妄想への理解と対応」(第9回-1月)に皆で考えましょとのことでした。